

50th Anniversary

株主の皆様へ

第41期第2四半期

(2012年4月1日～2012年9月30日)

HEART

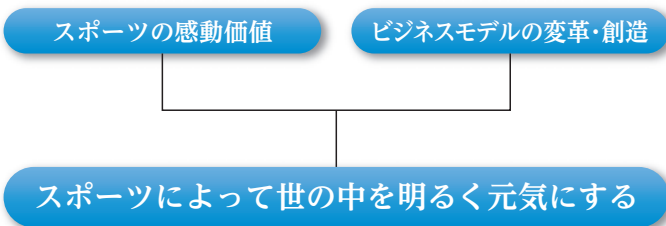


こころを動かすスポーツ。

私たちゼビオグループはスポーツの魅力と可能性を最大限に引き出し、伝え、表現し、発信し、それらをビジネスとしての価値に変えていきます。そしてスポーツ業界のビジネスモデルを変革し、スポーツのビジネスとしての価値を最大化していきます。その結果、スポーツの持続的発展に寄与し、地域社会への貢献、そして、身近にスポーツがある健康的で充実した豊かな人生の実現をお手伝いします。

ゼビオグループの宣言

- 私たちはスポーツの感動価値を最大化します。
- 私たちはスポーツ業界のビジネスモデルを変革・創造していきます。
- 私たちはスポーツによって世の中を明るく元気にしていきます。



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるスポーツ用品販売業界は、新たな流行や大型のヒット商品もなく、気候の変化などにも大きく影響された厳しい環境となり、先行きも不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは、店舗・在庫・システム・そして人的投資など将来に向けた成長投資を積極的に行っていました。店舗投資では、売場面積の拡大ペースを上げ、新たな取組として、株式会社ヴィクトリアが首都圏で運営していた「エルプレス」のゼビオ株式会社による地方展開を開始いたしました。在庫の面でも、品種・品目を増やすことで、顧客層の拡大を図り、新しいカテゴリーにもチャレンジしてまいりました。商品基幹システムの全面リニューアルや商品開発体制の強化も行ってまいります。トライ＆エラーを繰り返しながら、インフラを整備し、マーチャンダイジングの改革、将来のビジネスモデルのプラットフォーム構築を進めてまいりました。

着実な成長を遂げながら、この2012年8月15日、当社は創業50周年を迎えることとなりました。1962年福島県いわき市に紳士服専門店として創業し、その後、カジュアル衣料、スポーツ用品販売へと業態を大きく転換し、時代の変化とともに進化を遂げてまいりました。とくに2005年は、株式会社ヴィクトリアがグループ入りし、紳士服事業を売却することで、スポーツ事業に一気に舵をきる大きな転換期となり、その後も2008年に株式会社ゴルフパートナーがグループに加わるなど、業容・業態を拡大し続けてまいりました。そしてこの2012年9月には、グループ店舗数465店舗（FC除く）、グループ会社17社、通期の連結売上高見通しで1,980億円の規模にまで成長いたしました。

これまで歩んできた50年と同様に、これからもまた、私たちが取り巻く環境は、大きく変化していくこととされます。私たちは環境や価値観の変化を常にチャンスと捉え、コア事業であるスポーツ用品小売を進化・拡大させていくとともに、新しいサービスの提供や新たなブーム・マーケットの創出に向けた投資も積極的に行ってまいります。

そして50周年を迎えた今、スポーツによって世の中を明るく元気にしたいとあらためて考え「スポーツの国をつくろう」というテーマを掲げました。スポーツに感動できる人がたくさん住む国の未来は明るい私たちは信じています。ブランドステートメント「こころを動かすスポーツ」のもと、スポーツの魅力や可能性を最大限に引き出し、スポーツが持つ夢や感動を伝えていく活動にも取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 諸橋 友良

業績について

決算のポイント

当第2四半期連結累計期間は、前年の震災特需の反動、気候の変化、スポーツイベントなど外部環境に大きく影響される期となりました。前年に震災特需により好調であったキャンプ用品やトレーニングウェアの売上が大幅に減少する一方で、震災影響により不振であったゴルフ用品の販売は大きく増加いたしました。気候の変化の影響としては、夏に気温の上昇が遅れ、秋には残暑が続くという季節変化のズレにより、スポーツアパレルの販売が低調に推移いたしました。

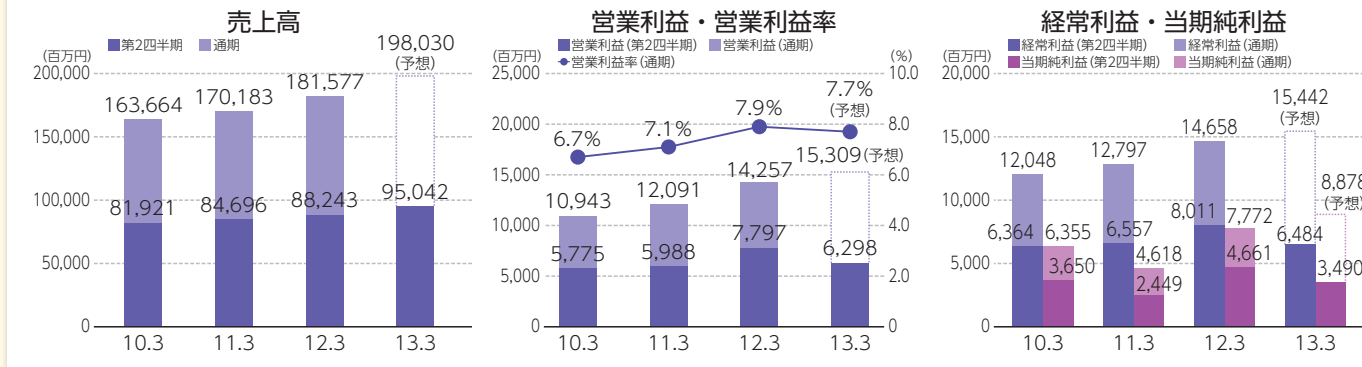
このような状況下、当社グループは、従来から進めている「地域・個店マーチャンダイジング」をさらに強化・推進し、それぞれの地域に合った品揃えを実現するとともに、商品説明POPの工夫やスタッフの接客力向上により、お客様ごとの使用目的に合った商品を提案することに注力してまいりました。

また、プライベートブランド商品の開発・販売でも、より多くのお客様のニーズに応えられるよう、スポーツに適した高機能素材を様々な商品カテゴリで展開する「素材戦略」に、新たな素材を加えて商品ラインナップを拡充いたしました。

併せて、中長期的な成長投資も積極的に実施いたしました。グループ内の商品流通や仕入業務の効率化、納期管理の精度向上を目的とした商品基幹システム（マーチャンダイジングシステム）のリニューアルを行い、店舗投資につきましても、主力業態である大型総合スポーツ店スーパースポーツゼビオを中心にハイペースで出店し、既存店の改装も積極的に行いました。

これらの成長戦略を進めた結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、増収ながら減益となりました。

当第2四半期の業績



部門別売上高の推移

〔主な部門の状況〕

<アスレチック部門>

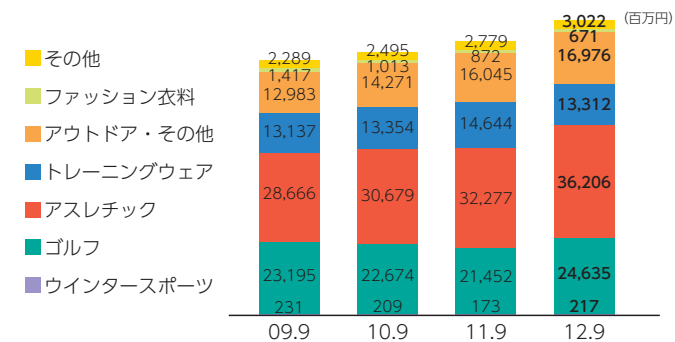
部活生向けの品揃えやキャンペーンを強化し、サッカーやバスケットボールなどで顧客層の拡大が見られました。また、日本人選手の活躍により人気上昇しているラケットスポーツや、参加者の増加が続くランニング関連も、販売は好調に推移いたしました。

<ゴルフ部門>

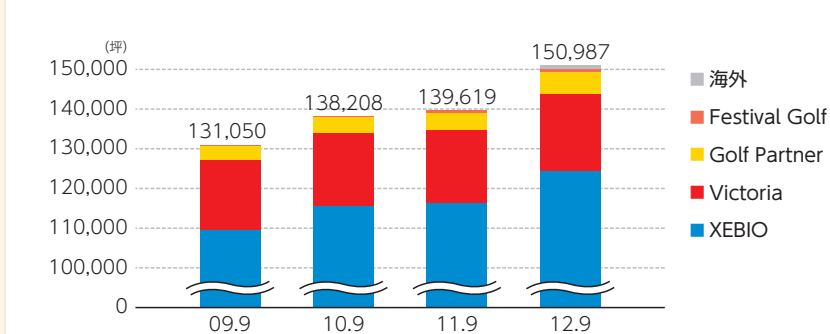
東日本大震災後に起こった全国的なプレー自粛に伴う販売低迷から、当期は回復基調となっております。クラブ販売ではフィッティングサービスを強化し、カスタマイズクラブの販売が堅調に推移いたしました。

<アウトドア・その他部門>

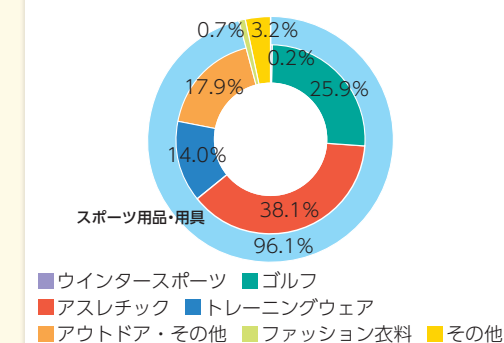
前年震災後に需要が急拡大したキャンプ用品では、その反動から販売が大きく減少いたしました。トレッキングでは、アウトドアブームの継続に伴って商品構成を見直した結果、好調に推移いたしました。



売場面積の推移

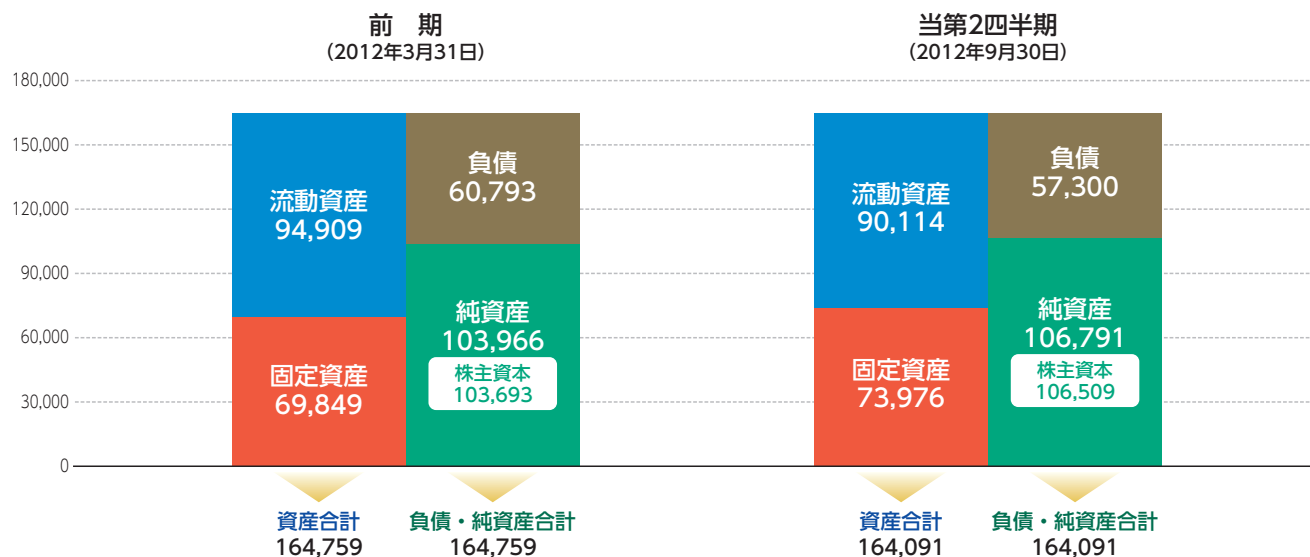


売上構成比

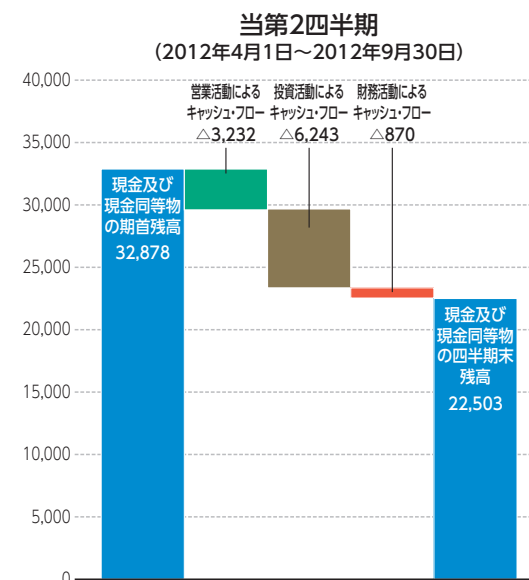


財務情報

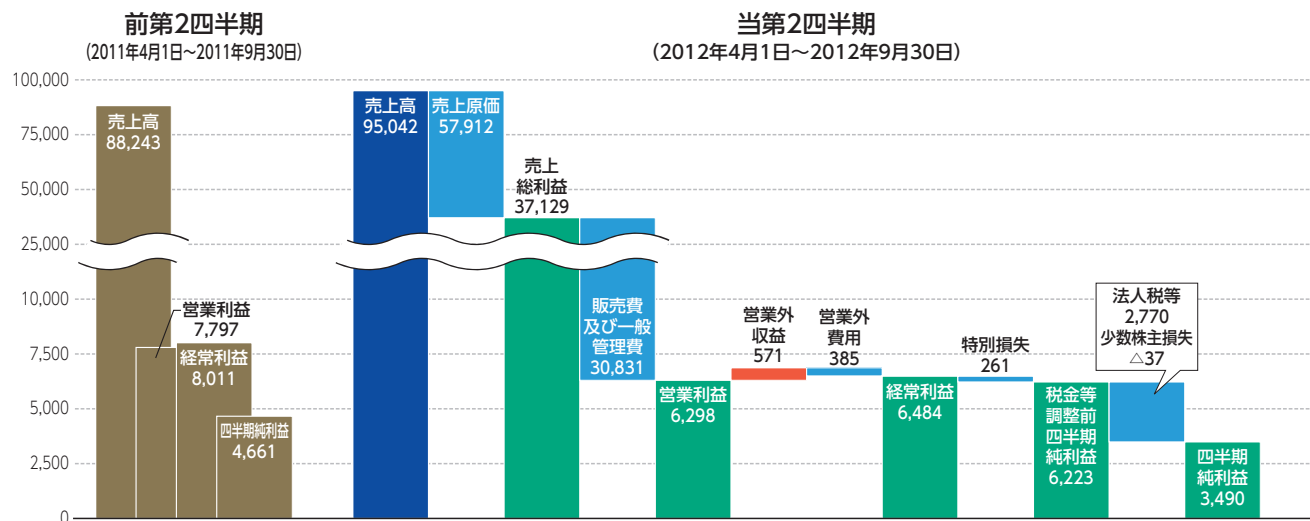
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

営業キャッシュ・フローは、△32億32百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を62億23百万円計上したこと、仕入債務の減少による資金の減少額が42億45百万円、たな卸資産の増加による資金の減少額が30億50百万円、売上債権の増加による資金の減少額が2億45百万円、法人税等の支払額が43億52百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資キャッシュ・フローは、△62億43百万円となりました。主な要因は、店舗の出店に伴う有形固定資産の取得による支出が32億96百万円、無形固定資産の取得による支出が5億41百万円、定期預金の預入による支出が25億円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務キャッシュ・フローは、△8億70百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額が6億75百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が5億5百万円であります。

当第2四半期の新規出店

新規出店は、国内の全地方でシェア15%以上、全県出店を目指し、西日本を中心に未出店エリアへの出店を継続しております。当期の山口県への初出店により、未出店県は7県となりました。また、当期は初の海外出店として上海浦東店をオープンいたしました。

スーパースポーツゼビオ7店舗、ヴィクトリアゴルフ6店舗、next1店舗を出店し、ゴルフパートナーは直営店舗5店舗を出店いたしました。

●2012年4月
スーパースポーツゼビオ
スポーツタウン久宝寺店
(ヴィクトリアゴルフ併設)



スーパースポーツゼビオ
あすと長町店
(ヴィクトリアゴルフ併設)



●2012年5月
スーパースポーツゼビオ
オリエンス錦糸町店
(ヴィクトリアゴルフ、
エルプレス併設)



●2012年6月
スーパースポーツゼビオ
上海浦東店
(ヴィクトリアゴルフ併設)



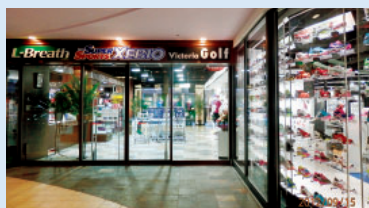
スーパースポーツゼビオ
ゆめタウン宇部店
(ヴィクトリアゴルフ併設)



●2012年9月
nextキャナルシティ
博多店



スーパースポーツゼビオ
キャナルシティ博多店
(ヴィクトリアゴルフ、
エルプレス併設)



スーパースポーツゼビオ
長岡リバーサイド千秋店
(ヴィクトリアゴルフ併設)



新たな取組

スーパースポーツゼビオでのエルプレスの展開

ヴィクトリアが展開するアウトドア専門店「エルプレス」の専門性・ファッション感度の高い商品構成、調達力を活かしてより幅広いお客様から支持される売場づくりを推進しております。



初の海外出店 上海浦東店のOPEN

2012年にスポーツ市場の規模が日本を上回ると予想され、国民の健康やスポーツへの関心が高まっている中国に、海外第1号店を出店いたしました。今後も積極的に海外出店を進めてまいります。



店舗改装

マーケットや流行の変化に対応すべく、スーパースポーツゼビオの改装も引き続き実施いたしました。また、都心と郊外とそれぞれの市場特性に適応したショップブランディングの確立のため、都心のヴィクトリアゴルフをプレミアムショップ化する大型改装を実施いたしました。クラブやアパレルのブランド別コーナーを拡大し、クラブフィッティングコーナーやカスタムシューズコーナーを設置するなど、エリア特性に合った品揃えとサービスの強化を図っております。



ヴィクトリアゴルフ新宿店



ヴィクトリアゴルフ新宿店



ヴィクトリアゴルフ青山店

プライベートブランド

プライベートブランドの強化策としてスポーツ用品ならではの性能や品質にこだわった商品の開発に取り組んでおります。スポーツ時だけでなく職場や家庭でも快適に過ごせる春夏向けの吸汗速乾・消臭に優れた「DRY-PLUS (ドライプラス)」素材は、昨年よりアイテム数を約1.5倍に増やし、展開しております。当期より新しく開発した素材「DRY-PLUS SARA (ドライプラスサラ)」は肌触りにもこだわった商品です。さらに、昨年よりクールビズの定番スタイルとなったポロシャツ「ビズポロ」は、スポーツテクノロジーをビジネスシーンでもご活用いただけるよう、ボタンダウンやフルオープンタイプを充実させました。



X'tyle **BiZ POLO** COOLBiZ
BUSINESS PERFORMANCE STYLE

DRY PLUS SARA
吸汗速乾素材

ホームページリニューアル

8月に当社ホームページをリニューアルしました。IR情報、CSR情報、店舗情報など最新情報を配信してまいりますのでぜひご覧ください。



<http://www.xebio.co.jp/>

プロモーション活動

50周年を迎え、「スポーツの国をつくろう。」というテーマを掲げ、ブランドステートメント広告を展開いたしました。

年間通して需要の高い部活生向け商品を充実させ、昨年まで期間限定で実施していたキャンペーンを「部活キャンペーン 2012」として通年で実施しました。

さらに、昨年に続き全日本少年サッカーや猪苗代湖ハーフマラソンへの特別協賛、東京マラソンチャリティスポンサーや東京ヴェルディホームゲームを主催するなど様々なスポーツイベントに協力いたしました。

●ブランドステートメント広告



●部活キャンペーン



社会貢献活動

【復興支援活動】

●NPBベースボールフェスタin福島

本年度は8月4、5日の2日間、野球で福島を元気にする事を目的とした「NPBベースボールフェスタin福島（主催 社団法人日本野球機構）」が開催され、当社もサポーターティングカンパニーとして参加いたしました。福島の皆様が野球を楽しんで頂くとともに、全国の野球を愛する皆様とともに、福島から全国、世界へ向けて、スポーツの持つ力を発信できるような活動いたしました。

当日は往年の名選手や、12球団から現役の選手による真夏の熱い試合が行われ、地元少年野球チームや地域の皆様まで盛り上がった2日間となりました。当社では、福島県内のスーパースポーツゼビオ7店舗で約4,000名の方への入場券の無料プレゼント企画や特設サイトを通じて福島からのメッセージの発信などを実施いたしました。



写真：開催会場 開成山野球場（福島県郡山市）の様子

●各種スポーツクリニックの開催

スポーツを通じて子ども達の心身の育成支援として、各種スポーツクリニックを開催しております。本年度は、昨年に引き続き、震災後の子ども達に元気を与えられるよう東北地区を中心にを行いました。クリニックでは、OB選手や現役選手の方、また有名な指導者などをゲスト講師に向かえ、技術指導だけでなくスポーツの楽しさや心構えなどを教えて頂きました。ゼビオグループでは引き続きスポーツを通じて子ども達の育成をサポートしてまいります。



写真：2012年7月28日 福島県南相馬市「中西哲生サッカー教室」

【ゼビオグループコーポレートサイトCSR活動報告】

URL : <http://www.xebio.co.jp/company/social/02/csr/>

復興支援活動累計（2011年3月より）
実施回数 66回 参加対象者数 13,562人

ゼビオグループの店舗展開

店舗運営会社

XEBIO		あらゆるスポーツ用品・用具を取り揃えた大型スポーツ用品専門店
		地域特性に合わせた品揃とサービスを展開する総合スポーツ店
		幅広い方に対応できる商品ラインナップとサービスのゴルフ専門店
		世界36カ国に700店以上を展開するイギリス最大のSPAブランド
		カジュアルスポーツウェアショップ
Victoria		都市型オールスポーツショップ
		幅広い方に対応できる商品ラインナップとサービスのゴルフ専門店
		ファッション感覚にあふれたアウトドア専門店
Golf Partner		中古ゴルフ業界No.1のネットワーク、55万本の在庫からびつたり1本を
		中古ゴルフ業界のパイオニア、豊富な在庫と安心価格

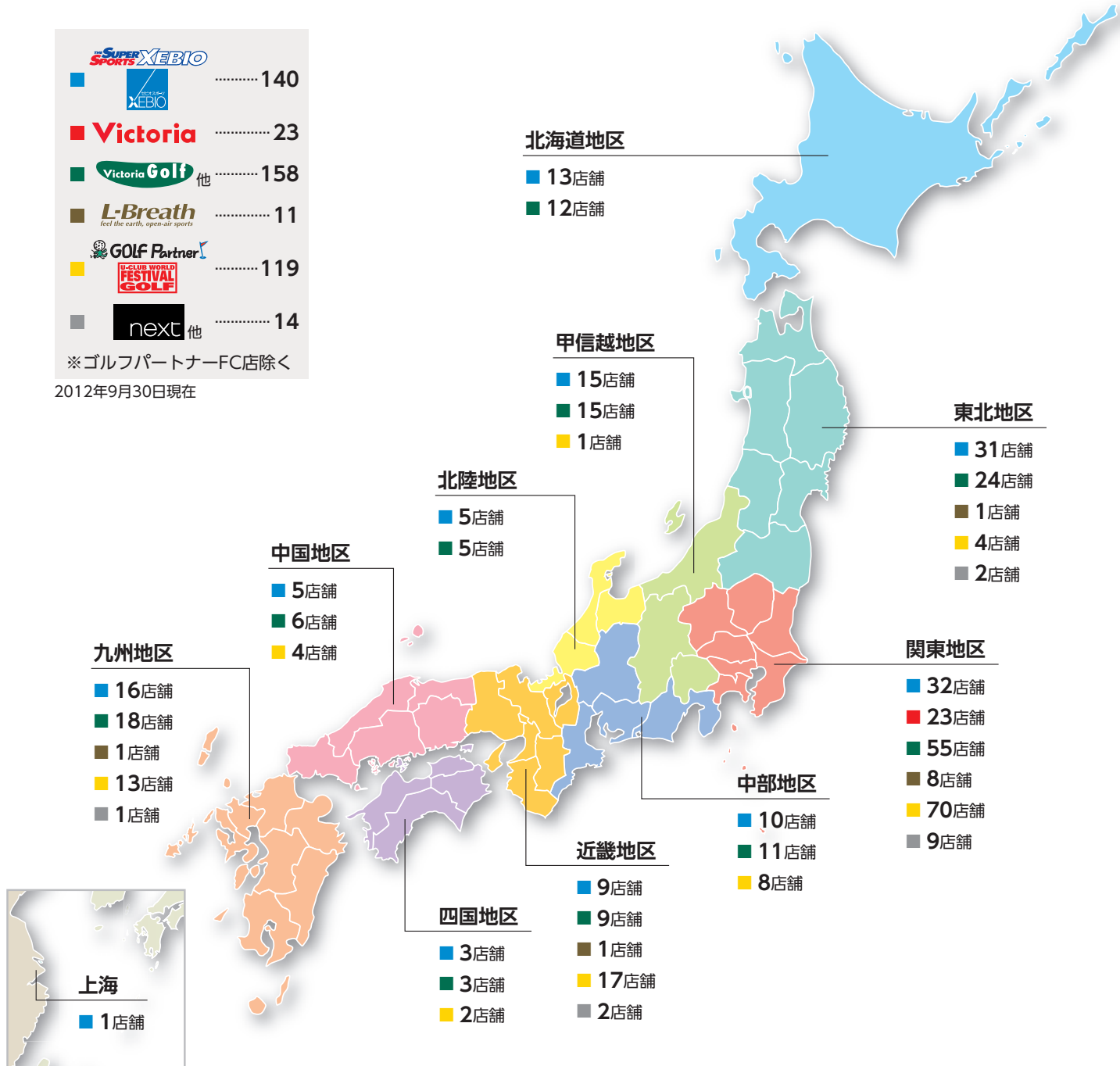
主要グループ会社

ALBAパートナーズ	ゴルフ関連WEBサイト
ゼビオカード	クレジットカード事業
清稜山	研修宿泊施設の経営等

ゼビオグループ 全国465店舗 (FC除く)

- 140
 - 23
 - 他 158
 - 11
 - 119
 - 他 14
- ※ゴルフパートナーFC店除く

2012年9月30日現在



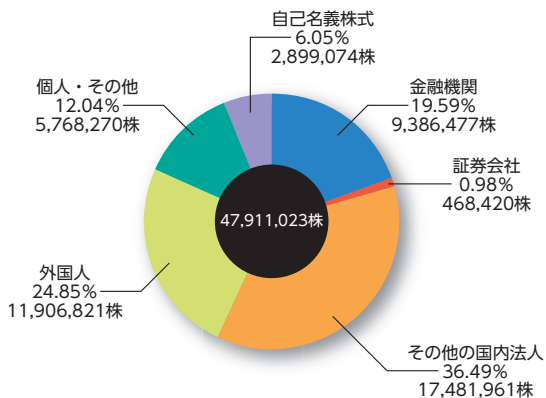
株式状況 (2012年9月30日現在)

- (1) 発行可能株式総数 135,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 47,911,023株
 (3) 株主数 6,839名
 (4) 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
有限会社サンビック	8,252,605	17.22
財団法人諸橋近代美術館	4,500,000	9.39
有限会社ティー・ティー・シー	4,121,466	8.60
ゼビオ株式会社	2,899,074	6.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,084,500	4.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,436,600	2.99
諸橋輝子	1,392,364	2.90
諸橋友良	1,172,950	2.44
諸橋寛子	900,897	1.88
野村信託銀行株式会社 (投信口)	693,900	1.44

(注) 信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれております。

所有者別株式分布状況



会社概要及び役員

商号 ゼビオ株式会社 (XEBIO CO.,LTD.)
 本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日三丁目7番35号
 電話 024-938-1111 (代表)
 ホームページアドレス <http://www1.xebio.co.jp/>
 創業 昭和37年8月
 会社設立 昭和48年7月5日
 事業内容 スポーツ用品・用具、紳士、婦人、子供服の販売
 従業員数 933名 (2012年9月30日現在)
 ※従業員数には、パートタイマー及びアルバイト3,827名 (1日実働8時間換算) は含んでおりません
 ※連結会社における従業員数は1,616名

■取締役及び監査役 (2012年9月30日現在)

役職	氏名	役職	氏名
代表取締役社長	諸橋友良	常勤監査役	加藤則宏
取締役	北沢猛	監査役*2	小谷野幹雄
取締役	大滝秀雄	監査役*2	佐々木庸雄
取締役*1	谷代正毅		
取締役*1	石綿学		

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります
 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります

■執行役員 (2012年9月30日現在)

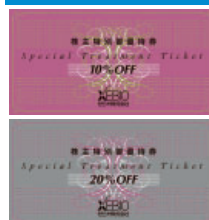
担当	氏名	担当	氏名
常務執行役員	大山雄彦	執行役員	木原正剛
常務執行役員	石塚晃一	執行役員	加藤正秀
常務執行役員	中村和彦	執行役員	高橋保
常務執行役員	大島康夫	執行役員	江川正規
常務執行役員	荒木裕一郎	執行役員	本多浩行
常務執行役員	石田純哉	執行役員	内海俊一
常務執行役員	中村考昭	執行役員	猪股祐一

株主様御優待

当社では、株主の皆様へ感謝の微意を表す意味で毎年9月30日及び3月31日現在の100株以上保有の株主の皆様を対象に「株主特別御優待券」を贈呈させていただいております。この「株主特別御優待券」は、当社各店でご利用の場合、お買物額の10%を割引させていただきます。「株主特別御優待券」は、ゼビオグループ各店舗でお使いいただけます。

100株以上保有する株主様	20%割引券 1枚 10%割引券 4枚
1,000株以上保有する株主様	20%割引券 2枚 10%割引券 8枚

お買物額



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月末日まで
 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月末日
 中間配当金 毎年9月末日
 定時株主総会 毎年6月開催
 公告方法 電子公告 (<http://www1.xebio.co.jp/>)
 ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。
 株主名簿管理人 東京証券代行株式会社
 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
 郵便物送付先 (連絡先) 〒168-8522 東京都杉並区泉東二丁目8番4号
 東京証券代行株式会社 事務センター
 ☎0120-49-7009
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

●未支払配当金のお支払について

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

●「配当金計算書」について

配当金を銀行等口座振込 (株式数比例配分方式を除きます。) または配当金領収証にてお受取りの場合、お支払いの際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様におかれましては、お取引の証券会社等にご確認ください。

配当の状況

	1株あたりの配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2011年3月期	15円00銭	15円00銭	30円00銭
2012年3月期	15円00銭	15円00銭	30円00銭
2013年3月期 (予想)	17円50銭	17円50銭	35円00銭

(注) 2013年3月期の配当金につきましては、記念配当5円00銭 (第2四半期末2円50銭、期末2円50銭) を含んでおります。



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。

